

<b>科目名：口腔外科学〈含、麻酔学〉</b>		必	1 単位
(Oral Surgery ) 履修年次/時期：2 年次 前期 授業形態：講義 担当教員：水谷成孝（実務経験有り）、河合良明（実務経験有り）			
学修目的	口腔外科は、ほとんどすべての基礎歯科医学、臨床歯科医学に立脚した学問である。したがって、まずこれらの基本的な知識の十分な理解と習得を目指し、その上で口腔外科としての専門知識を学ぶ。同時に、医療を受ける側の心理についての考えも深化させたい。(DP 1,2) (CP 2,3,6) (科目 No.S2C09H12)		
到達目標	口腔外科学は「外科」とはなっているが、粘膜疾患、症候群、感染症などを扱う「内科」、扁平苔癬、帯状疱疹などを扱う「皮膚科」、顎関節症、顎変形症などを扱う「形成外科、整形外科」、上顎洞疾患、唾液腺疾患などを扱う「耳鼻科」、三叉神経痛、舌痛症などを扱う「精神、神経科」と多岐に渡った領域と関連している。また、特に外科治療を行うにあたりその処置の可否は適応症や禁忌症、妊娠の有無、循環動態、現在の授業内容などにより規制され、「産婦人科」「眼科」とも関連する場合がある。学修目的にも述べたようにすべての医科に立脚した学問であることから、本学科を習得することは、単位を取り、国家試験に合格することを最終目的とするのではなく、将来、衛生士として臨床の場で活躍する時、また、一般生活をする上でも必要な知識と考える。 講義は下記に内容に分類される。 ①口腔外科の基礎知識を理解する。 これは衛生士として直接関与することは少ない場合が多い疾患について、知識としてマスターする。 ②歯科医師の介助、器具の準備、滅菌消毒を行う。 これは歯科医師処置時の補佐を行う。器具の準備や介助には処置内容の十分な理解が必要であり、学習をする。 ③衛生士が主体、主導となって治療を行う。 最近保険に導入されてきた「周術期」治療は口腔衛生指導の場合が多く、歯科衛生士が主として治療を行う。 以上3項目の理解、習得を到達目標とする。口腔内に生じる「う蝕」と「歯周病」以外の、ほとんどすべての疾患について学習し、診査、診断、処置法などを学ぶ。スライド、PC、ビデオなどを適宜使用して、単なる知識の羅列にとどまらない、立体的、実践的な、常に臨床を念頭に置いた内容を目指す。医療の現場からのさまざまなエピソードも適宜紹介し、医療従事者としての心のあり方も、ともに模索してゆきたい。口腔内に生じる「う蝕」と「歯周病」以外の、ほとんどすべての疾患について学習し、診査、診断、処置法などを学ぶ。スライド、PC、ビデオなどを適宜使用して、単なる知識の羅列にとどまらない、立体的、実践的な、常に臨床を念頭に置いた内容を目指す。医療の現場からのさまざまなエピソードも適宜紹介し、医療従事者としての心のあり方も、ともに模索していききたい。		
授業概要	口腔内に生じる「う蝕」と「歯周病」以外の、ほとんどすべての疾患について学習し、診査、診断、処置法などを学ぶ。スライド、PC、ビデオなどを適宜使用して、単なる知識の羅列にとどまらない、立体的、実践的な、常に臨床を念頭に置いた内容を目指す。医療の現場からのさまざまなエピソードも適宜紹介し、医療従事者としての心のあり方も、ともに模索していききたい。		
評価方法	本試験（100 点満点：マークシート形式、一部記述あり）(90%)、講義時小試験（10%）により評価する。 試験に対するフィードバックは掲示板で行う。		
予習・ 復習時間	【予習】0.5 時間 【復習】0.5 時間		
教科書	顎・口腔粘膜疾患 「口腔外科・歯科麻酔」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社		

参考書	歯科衛生士教育マニュアル「口腔外科学」クインテッセンス出版 看護師のための最新医学講座 第23巻 歯科口腔系疾患 (最新歯科衛生士教本を廃止し、歯科衛生学シリーズになる予定とのことです)
オフィス- 連絡先	木曜日 9:00~17:00 不在の日程が多いので事前にメールをいただくと確実です。 mizudent@sa.netyou.jp (水谷) omsi.kawai@kkh.biglobe.ne.jp (河合)